

公益社団法人 日本地下水学会  
2017年度 第1回 理事会議事録

1. 開催日時 : 2017年4月22日 (土) 13:30~18:10
2. 開催場所 : 日本工営(株)九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室  
〒102-8539 東京都千代田区九段北1丁目14番6号
3. 理事総数 : 15人

4. 出席理事数 : 12人 ○ : 出席, × : 欠席

理事	今村 聡	×	理事	今井 久	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	高坂 信章	○	理事	坂本 大	○
理事	白石 知成	○	理事	杉田 文	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	竹内 真司	○
理事	谷口 真人	○	理事	徳永 朋祥	×
理事	中川 啓	○	理事	中屋 眞司	○
理事	古川 正修	×			

5. 出席監事数 : 2人

監事	平山 光信	○	監事	村田 正敏	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名 : 代表理事 (会長) 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分 本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況 :

- ①2017年2月22日 : 衆議院第一議員会館にて「水の安全保障戦略機構第15回基本戦略委員会」が開催され、地下水に関する最新の研究内容について報告した。
- ②2017年2月28日~3月1日 : 愛媛県西条市の地下水調査委員会に参加した。西条市では地下水条例制定について検討中である。
- ③2017年3月29日 : つくば市にて韓国IAHのYongje Kim氏と会談し、2018年9月17~21日に韓国大田広域市にて開催されるIAH2018への協力要請があった。2017年10月19~20日にプレシンポジウムが開催されること、来年のIAHを契機にアジア-オセアニア地域での連携強化、活動の活発化などを行うことなどを話し合った。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名 : 該当する理事はいない。

9. 議事録作成者 : 理事 高坂 信章

## 10. 理事会資料

- 理事会資料－ 1：2017年度 第1回理事会 議事次第
- 理事会資料－ 2：2016年度 第7回理事会議事録（案）
- 理事会資料－ 3（1種）：企画委員会資料
- 理事会資料－ 4（2種）：行事委員会資料
- 理事会資料－ 5（1種）：渉外委員会資料
- 理事会資料－ 6（1種）：編集委員会資料
- 理事会資料－ 7（欠番）：調査研究委員会資料
- 理事会資料－ 8（1種）：市民コミュニケーション委員会資料
- 理事会資料－ 9（1種）：広報・IT 委員会資料
- 理事会資料－10（1種）：若手支援・男女共同参画委員会資料
- 理事会資料－11（2種）：技術者継続教育委員会資料
- 理事会資料－12（1種）：会計委員会資料
- 理事会資料－13（2種）：表彰委員会資料
- 理事会資料－14（8種）：総務委員会資料
- 理事会資料－15（3種）：水循環基本計画対応WG資料

### 【審議事項】

#### 第1号議案：（資料-2）

- ・ 前回議事録（案）の内容が確認され、承認された。

#### 第2号議案：（渉外：資料-5）

- ・ 渉外委員長よりPEPS編集委員交代について提案され、竹内理事が担当することとなった。5月22日に開催される第1回ジャーナル編集委員会へ参加する。

#### 第3号議案：（渉外：資料-5）

- ・ 渉外委員長よりHRL誌編集委員会委員長として山中勤氏の就任承諾が提案され、承認された。

#### 第4号議案：（YEPS：資料-10）

- ・ YEPS委員長より「地下水研究若手助成」の審査員について説明があり、原案どおりとすることが承認された。

#### 第5号議案：（YEPS：資料-10）

- ・ YEPS 委員長より「若手地下水研究奨励賞」授与者の選出方法について説明があった。審査基準（案）を YEPS 委員会で作成し、これを理事会で審議のうえ選出方法を決定する。継続審議とする。

#### 第6号議案：（会計：資料-12）

- ・ 会計委員長より2016年度決算の報告があり、承認された。2016年度は199万円程度の赤字となった。来年度以降、収支を改善する方策を検討のうえ代議員総会で説明することが確認された。

**第 7 号議案：**（表彰：資料-13-1）

- ・ 表彰委員長より2017年度日本地下水学会表彰（案）について報告があり、表彰対象者全員が承認された。

**第 8 号議案：**（表彰：資料-13-2）

- ・ 表彰委員長より表彰委員会規則および附則の変更について報告があった。附則の内容について再検討することとなった。継続審議とする。

**第 9 号議案：**（水循環基本計画対応 WG：資料-15-1, 15-2, 15-3）

- ・ 水循環基本計画対応WGより「水循環基本計画に対応するための学会活動計画」が答申され、承認された。

**第 10 号議案：**（総務：資料-14-2）

- ・ 総務委員長より「2016年度事業報告書」が説明され、承認された。

**第 11 号議案：**（総務：資料-14-1）

- ・ 総務委員長より次期代議員のうち1名から辞退者が出たことが報告された。補欠の代議員がいないことから2017～2018年度の代議員は23名体制とすることが承認された。

**第 12 号議案：**（総務：資料-14-1）

- ・ 総務委員長より産業技術総合研究所からの受託研究（平成28年度繰越対応）の依頼があったことが報告され、これを受託することが承認された。

**第 13 号議案：**（総務：資料-14-3）

- ・ 総務委員長より「アクションプランおよび関連委員会のロードマップ」について報告があった。各委員会で5月9日までに修正意見を出し、総務委員会でまとめ作業を行ったうえで、代議員総会後の意見交換会にて報告を行うこととした。

**第 14 号議案：**（総務：資料-14-4, 14-5）

- ・ 総務委員長より「支出に関する決裁規程」（案）について説明があり、「理事会の承認を得た後、会長が決済する」と修正したうえで承認された。

**第 15 号議案：**（総務：資料-14-6）

- ・ 総務委員長より「プライバシーポリシー」（案）、「個人情報取扱い規程」（案）について説明があり、一部修正のうえ承認された。

**第 16 号議案：**（総務：資料-14-7）

- ・ 総務委員長より入退会者リストについて報告があり、会員の入会および退会について承認された。

**第 17 号議案：**（総務：資料-14-8）

- ・ 総務委員長より2017年度定期代議員総会 議事次第（案）について説明があった。代議員総会の議案は第3号議案 監事、理事選出の件 までとすることで承認された。

## 【報告事項等】

### 1. 企画委員会（資料-3）

- ・ 企画委員長より、5月19日開催のセミナー「グローバル地下水研究の現状と課題」に関する準備状況について説明があった。
- ・ 企画委員長より、7月1日開催のセミナー「津波に伴う地下水影響とその後の回復」に関する検討・準備状況について報告があった。

### 2. 行事委員会（資料-4）

- ・ 2017年度春季講演会におけるイベントとして地下水（ペットボトル）の試飲・投票を開催する。春季講演会実行委員長より実施方法、水提供者の推薦状況について報告があった。
- ・ 行事委員長より、2017年度春季講演会の開催準備状況について報告された。
- ・ 行事委員長より、2017年度秋季講演会の開催準備状況について報告された。
- ・ 行事委員長より、「第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」の開催準備状況について報告された。

### 3. 渉外委員会（資料-5）

- ・ 日本地下水学会からのHRL誌運営委員会には竹内理事に参加いただくことが確認された。

### 4. 編集委員会（資料-6）

- ・ 編集委員長より、学会誌2017年1号（2月号）の巻頭言が脱落したことについて報告があった。今後、このような事故が発生しないようチェック体制を強化することが確認された。
- ・ 編集委員長より、学会誌2017年2号の発行計画について報告があった。
- ・ 編集委員長より、編集委員会メンバーの変更について報告があった。副委員長3人体制、編集委員20人体制とすることが報告された。
- ・ 編集委員長より、論文賞および奨励賞の選考推薦結果について報告があった。
- ・ 編集委員長より、ゲストエディター制を採用して特集号、誌面講座企画を強化することについて報告があった。

### 5. 調査研究委員会（資料なし）

- ・ 調査研究委員長より、「熊本地震対応調査・研究グループ」の第2回会合および現地調査が2月27日～28日に開催されたことが報告された。
- ・ 「熊本地震対応調査・研究グループ」の次回会合は春季講演会開催に合わせ5月19日に開催されることが報告された。

### 6. 市民コミュニケーション委員会（資料-8）

- ・ 市民コミュニケーション委員長より、2016年度活動実績について報告された。

- ・ 市民コミュニケーション委員長より、2017年度活動予定について報告された。
- ・ 市民コミュニケーション委員長より、科研費の申請結果として不採用であったことが報告された。
- ・ 市民コミュニケーション委員長より、事務局への Q&A への対応状況について報告があった。基本的に Q&A には市民コミュニケーション委員会が対応することが報告された。また、対応結果について事務局より理事に報告することが確認された。

#### 7. 広報・IT 委員会（資料-9）

- ・ 広報・IT 委員長より、委員会の活動実績について報告された。
- ・ 広報・IT 委員長より、委員の在籍期間について報告された。
- ・ 広報・IT 委員長より、ウェブ・アクセス状況について報告された。

#### 8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）（資料-10）

- ・ YEPS 委員長より、4月22日現在で「地下水研究若手助成」への応募者が1名であることが報告された。
- ・ YEPS 委員長より、「若手会」コアメンバーとして6名を決定したことが報告された。
- ・ YEPS 委員長より、5月19日17:30~19:30に若手交流会を開催することが報告された。
- ・ YEPS 委員長より、3月21日に開催された YEPS 委員会の議事について報告があった。「地下水研究若手助成」については理事会審議のうえ変更することが確認された。

#### 9. 技術者継続教育委員会（資料-11）

- ・ 総務委員長（代理）より、ジオスクーリングネット掲載行事について報告があった。
- ・ 総務委員長（代理）より、ジオスクーリングネットへの CPD 登録申請状況について報告があった。
- ・ 総務委員長（代理）より、3月6日に開催された平成28年度土質地質技術者生涯学習協議会の概要について報告があった。詳細については次回理事会において技術者継続教育担当理事より報告いただくこととした。

#### 10. 会計委員会（資料-12）

- ・ 会計委員長より、4月7日に監査が実施されたことが報告された。

#### 11. 表彰委員会（資料-13-1）

- ・ 表彰委員長より、春季講演会の報告会の際に地下水学術賞受賞者 開発一郎氏に講演いただくことが報告された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は18時10分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2017年5月13日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監 事：平山 光信



監 事：村田 正敏

